

第2学年A組 社会科学習指導案

指導者

1 単元 世界の諸地域 –アフリカ州–

2 単元の目標

- アフリカ州が生産物の輸送や開発のための技術を海外にたよっていることに関心をもち、設定された学習テーマを意欲的に追究しようとする。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- アフリカ州の国々の他国への依存からの脱却が進められてきた過程について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。(社会的な思考・判断・表現)
- 収集した資料から、アフリカ州の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりすることができる。(資料活用の技能)
- アフリカ州について、「アフリカのこれまでとこれから」という学習テーマを基に、地域的特色を理解し、その知識を身に付けることができる。(社会的事象についての知識・理解)

3 単元の指導について

アフリカ州は広大な面積をもち、熱帯を挟んでほぼ南北に模式的に気候帯が広がっている。歴史的にも、エジプト文明が栄えた歴史ある地である。しかし、中世の大航海時代以降は奴隷貿易の中心となり、長い間ヨーロッパ諸国の植民地となった歴史をも併せもっている。経済的には植民地時代に強制されたモノカルチャー経済とプランテーションにより立ち後れている。しかし、最近は各種のレアメタル資源の開発が先進国を中心とした世界中から期待されており、経済の安定に向けた取り組みもなされている。しかしながら貧困や難民が多く、内戦や民族紛争が絶えず、日本や先進諸国などの様々な援助を求めている。(教材観)

本学級の生徒は、授業中の発表を積極的に行い、社会的事象について興味をもち、地図帳や資料集などを用いて調べ、ノートや新聞などにまとめることが得意な生徒は比較的多い。しかしながら、既習事項である「ヨーロッパ統合の理由をキーワードを用いて説明しなさい。」というプレテストの結果を分析すると、約31%の生徒しか説明をすることができない。地図やグラフ、表などの内容を読み取って考えたり、自分なりの考えや意見をもって他者と意見交換をしたりすることを苦手とする生徒が多く、個人差が見られる。アフリカ州については、「経済的に貧しい」といったイメージしかなく、生活や文化についての知識も希薄である。(生徒観)

そこで本単元では、まず、アフリカ州の地域的特色を調べ、アフリカ州にキャッチフレーズを付ける活動を通して、「アフリカのこれまでとこれから」という単元の学習課題を設定する。次に、アフリカの「産業や産業以外のこれまで」という課題でそれぞれの特色を調べ、問題発生の原因をグループで話し合わせる。最後に、「アフリカのこれから」という課題で、「どうしていけば発展していくのか」という課題で話し合わせ、アフリカ州にキャッチフレーズをつける活動で、単元のまとめとしていきたい。(指導観)

4 指導計画 (25時間扱い)

- 第1次 アジア州…………… 5時間
- 第2次 ヨーロッパ州…………… 5時間
- 第3次 アフリカ州…………… 4時間

時	学習内容・活動	関	思	技	知	観点別評価基準
1	・アフリカの地域的特色を調べる。 ・アフリカにキャッチフレーズを付ける。			○	○	・アフリカ州を大観することにより、地域的特色の基礎的な知識を身に付けている。 ・調べた地域的特色に基づいてキャッチフレーズに表現することができる。
2	・アフリカの産業の現状について、イラストマップにまとめる。 ・アフリカの産業の課題を話し合う。	○		○		・主要国の人々の生活について資料をもとに、イラストマップにまとめることができる。 ・アフリカ州が抱える産業の課題について、意欲的に考えている。
3 (本時)	・産業以外のアフリカの現状について調べ、イラストマップにまとめる。 ・各自が調べた内容を発表し、問題発生の原因についての共通性を話し合う。			○	○	・アフリカ州が抱える課題について、捉えることができる。 ・調べた内容を基に、自分の考えを説明できる。
4	・アフリカのこれからについて考える。 ・アフリカの地理的特色をキャッチフレーズに表現する。		○		○	・アフリカの展望について自分の考えを説明している。 ・調べたことを基にして、キャッチフレーズにまとめることができる。

- 第4次 北アメリカ州…………… 5時間
- 第5次 南アメリカ州…………… 3時間
- 第6次 オセアニア州…………… 3時間

5 本時の指導

(1) 目標

都市化・人口増加・環境問題等の産業以外の視点からアフリカの課題について理解し、イラストマップにまとめ、話し合うことを通して、問題発生の原因について考えることができる。

(2) 準備・資料

教科書、地図帳、資料集、アフリカ州地図、掛け図、プロジェクタ、ノートPC、スクリーン、ワークシート

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。 産業以外のアフリカのこれまでとこれからについて考えよう。</p> <p>2 アフリカの都市化、人口増加、環境問題などの課題について調べ、イラストマップにまとめる。</p> <p>①都市問題 ②人口増加 ③地域紛争 ④砂漠化 ⑤乳児死亡率 ⑥エイズの感染 ⑦環境問題 ⑧難民問題 ⑨貧困問題</p> <p>【予想される生徒の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市部は、日本とあまり変わらない。 ・なぜ、スラムという居住区があるのだろうか。 ・なぜ、各国の都市部は人口増加率が高いのかな。 ・紛争や内戦は、北アフリカに多い。 ・砂漠化と人口増加には関係がありそうだ。 ・乳児死亡率が高いのは、医療や食糧の問題と関係がありそうだ。 ・エイズの感染率が高いの北アフリカだ。 ・農地の拡大が、環境問題につながっている。 ・難民は、中央アフリカの国に多い。 ・なぜ、アフリカはこんなに貧困に苦しむ国が多いのだろうか。 <p>3 各自が調べた内容をグループ内で発表し、問題発生の原因について、共通性を見出す。</p> <p>【予想される生徒の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不利な貿易等により、経済状態が良くないというのが全ての原因ではないか。 ・地域紛争など、政治的に安定していないのが原因ではないか。 ・国連や政府開発援助など、各国からの援助が足りないのも原因ではないか。 ・学校に通えない子どもがたくさんいることから、教育の遅れも原因ではないか。 <p>4 各グループで話し合った結果を全体で比較する。</p> <p>5 次時の内容について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は、前時で調べた産業以外のアフリカが抱える課題について自分が選択した問題を調べ、原因の共通点をグループで話し合うことを説明する。 ・前時に引き続き、教科書・資料集・地図帳を使用して調べるように指示する。 ・各問題の統計資料を与え、必要な情報のみをイラストマップにまとめるように助言する。 ・都市の経済格差を捉え、スラムのインフラの未整備に気付けるように、写真資料をよく見るよう助言する。 ・一次産品の輸出によって、一部の人だけが豊かになっていることを説明した上で、都市への人口集中の問題にも気付くよう助言する。 ・貧富の差に気付けるように、南アフリカ共和国の都市部・住宅街等の写真資料を提示する。 ・アフリカの乳児死亡率の高さを把握できるように、西部・中部アフリカと日本の乳児死亡率を比較できる資料を提示する。 ・エイズの感染は、医療の遅れや貧困とも関係していることに注目させる。 ・イラストマップには、アフリカのどこで、どの程度なのかという現状を必ず明記するように指示する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〔知〕 視点を明確にしてまとめることで、アフリカが抱える課題について捉えることができる。 (イラストマップ)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで司会者を決め、各自のイラストマップを示しながら、調べた内容を順に発表するように補足する。 ・前時で調べた産業の問題点についても言及しながら、共通点を見出すように助言する。 ・話合いの結果を短文で表すように助言する。 ・話合いの結果を短冊黒板に記入し、板書するように指示する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〔思〕 調べた内容を基に、自分の考えを説明している。 (観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の考えを 深めさせるために、各グループの意見と自分の考えを比較するように補足説明する。 ・次時は、アフリカ州の地域的特色をまとめることを確認する。